

野生動物管理教育プログラム 受講生募集!

野生動物管理の専門家育成のための教育プログラム

深刻化した野生鳥獣による農林水産業被害や生態系被害など地域課題を解決するため、科学的な野生動物管理を担うことができる専門人材の育成を目的に、将来的な資格制度につながる「コアカリキュラム」に向けて、試行的に開講いたします。



野生動物管理教育とは

令和6年度野生動物管理教育プログラム(全7科目)

詳細は裏面を参照 →

農学部特別講義Ⅱ	野生動物保全管理学	1単位	オンデマンド 講義
	野生動物被害管理学	1単位	
	鳥獣・環境関連法規・政策	1単位	
農学部特別講義Ⅰ	自然保護と自然資源管理Ⅰ	0.5単位	
	自然保護と自然資源管理Ⅱ	0.5単位	
	住民参加型計画立案手法	0.5単位	
農学部特別講義Ⅰ	野生動物森林対策演習	0.5単位	

※本講義の単位数はCAP制度の対象にはなりません。(CAP制度：ひとつの期に履修登録できる単位数に上限を定めた制度。履修案内〔農学部〕p.20を参照)

受講対象者

東京農工大学に在籍する農学部生(2年次～) および農学府生

オンデマンド講義 → 農学部特別講義Ⅰ(3科目)、農学部特別講義Ⅱ(3科目)

開催学期：2024年度 3学期

内容：講義動画をSIRIUS-LMSで配信。レポート課題あり。

定員/費用：なし

申込方法：農学部生→SIRIUSでweb履修登録。(後期履修登録期間)

農学府生→下記申込フォームから申込後、SIRIUS「各種申請」から教務係に届出。(後期履修登録期間)

農学府生用申込フォーム <https://forms.gle/ijz5zukiEM5wxi499>

※各特別講義のシラバスを確認すること。

農学府生用
申込フォーム

現地実務講習 → 農学部特別講義Ⅰ「野生動物森林対策演習」(1科目)

開催日程：2024年10月5～6日 開催地：FM草木(宿泊：FM大谷山)

内容：1泊2日の演習+後日大学にてまとめ・発表。レポート課題あり。

定員：25名。申込者数が定員を超えた場合は抽選。抽選結果は7月26日(金)までに学内メールにてお知らせ予定、夏休み前に必ず確認すること。

費用：1,800円(食費として)+交通費 自己負担

申込方法：下記申込フォームから7月22日(月)までにお申し込み下さい。

現地実務講習申込フォーム <https://forms.gle/Cbabj5rQ8TmkE4xT9>WEB履修登録不可。参加確定者の履修登録は教務係が行います。

※野生動物管理教育研究センターHPにて詳細連絡。必ず事前に確認すること。

HP：<https://web.tuat.ac.jp/~cwmer/index.html>※10月1日(火)昼休みに対面にてガイダンスあり。(参加必須)現地実務講習
申込フォーム

令和6年度 野生動物管理教育プログラム一覧

科目名 (項目数)	学修項目	講師	主な学修内容
野生動物保全 管理学 (7) ★	(1) 野生動物管理とは何か	高田 (東京農工大)	哺乳類相の特徴、野生動物管理の在り方
	(2) ヨーロッパと北米の野生動物管理	宇野 (東京農工大)	野生動物管理の歴史、ヨーロッパと北米の野生動物管理システム
	(3) 個体群動態の基礎	宇野 (東京農工大)	個体群生態学の用語、理論
	(4) 野生動物の過増加	宇野 (東京農工大)	過増加がもたらす様々な影響
	(5) 大型獣の個体群管理	諸澤 (東京農工大)	大型獣の生態的特性と管理手法
	(6) モニタリング	諸澤 (東京農工大)	個体群モニタリングの基礎
	(7) 生息地	高田 (東京農工大)	生息地の概念、生息地利用
野生動物被害 管理学 (7) ★	(1) 野生動物管理のなかの被害管理の位置づけとは	小寺 (宇都宮大)	人口縮小社会の野生動物被害、被害管理に関わる社会教育
	(2) 農業被害の背景・要因・実態	小寺 (宇都宮大)	農業被害の増加の背景と要因、農村の諸問題
	(3) 農業被害の軽減手法	小寺 (宇都宮大)	農業被害軽減手法と技術
	(4) 森林生態系被害、林業被害の背景・要因・実態	小池 (東京農工大)	森林生態系被害、林業被害の背景と要因
	(5) 森林生態系被害、林業被害の軽減手法	小池 (東京農工大)	林業被害軽減手法と技術
	(6) 水産業被害の背景・要因・実態	須藤 (イグレットワイス)	鳥類や鱈脚類による水産業被害の背景と要因、漁業の諸問題
	(7) 水産業被害の軽減の手法	須藤 (イグレットワイス)	水産業被害軽減手法と技術
自然保護と 自然資源管理Ⅰ (3) ★	(1) 自然保護とは何か	平原 (東京農工大)	保存と保全、日本と欧米の自然保護思想の違い
	(2) 自然資源管理とは何か	平原 (東京農工大)	自然資源、エコシステムマネジメント
	(3) 自然資源管理のガバナンス	平原 (東京農工大)	ガバナンス、補完原則、市民参加
自然保護と 自然資源管理Ⅱ (3) ★	(1) 野生動物の資源的価値	鈴木 (岐阜大)	野生動物の資源的価値、利用形態
	(2) 野生動物の消費的活用	伊吾田 (酪農学園大)	狩猟資源、食肉資源、副産物等
	(3) 野生動物の非消費的活用	中川 (知床自然大学院大学設立財団)	観光資源、教育資源等
鳥獣・環境関連 法規・政策 (7) ★	(1) 鳥獣保護管理法	鳥居 (自然公園財団)	鳥獣保護管理法概要、特定計画制度
	(2) 自然環境保全関連法令の概要	鳥居 (自然公園財団)	生物多様性基本法、自然環境保全関連個別法
	(3) 森林関連法規、森林・林業基本法	門脇 (林野庁)	森林・林業基本法、森林法、森林計画・山地保全
	(4) 特定計画に基づく科学的管理手法	横山 (兵庫県立大)	科学的管理、データ収集・分析の理論と手法
	(5) 野生動物問題に関する法体系	諸澤 (東京農工大)	鳥獣被害防止特措法と鳥獣保護管理法
	(6) 行政の構造、公的機関の役割	諸澤 (東京農工大)	都道府県と市町村、公務員の理想像やモデル事例
	(7) 農林業被害対策に関する計画立案	諸澤 (東京農工大)	被害防止計画の立案
住民参加型 計画立案手法 (3) ★	(1) 地域主体の獣害対策の理論	山端 (兵庫県立大)	被害管理、合意形成、アクションリサーチ
	(2) 地域主体の獣害対策推進手法	山端 (兵庫県立大)	アンケート・インタビュー、フィールド調査、可視化 (GIS)、ワークショップ技法
	(3) 農業におけるコミュニティの特徴と土地利用計画、「人・農地プラン」	山端 (兵庫県立大)	農業集落、コミュニティ組織、農村社会の課題
野生動物 森林対策演習 (3) ★	(1) 森林の実踏調査方法	高田・諸澤 (東京農工大)	森林や生態系被害の把握方法
	(2) モニタリング調査	高田・諸澤 (東京農工大)	糞などの痕跡や自動撮影カメラを用いたモニタリング手法
	(3) 森林保全対策立案手法	高田・諸澤 (東京農工大)	林業被害の防除手法と技術

★オンデマンド講義 (7科目/30学修項目) 1学修項目 約90分

☆現地実務講習※ (1科目/3学修項目) 1泊2日の演習+後日大学にてまとめ・発表を予定。
※現地実務講習は定員制の為、応募者多数の場合は抽選を行います。

●オンデマンド講義・現地実務講習共に、レポート課題による成績評価を予定。

- 上記プログラムは、令和7年度以降のコアカリキュラム本格的実施のための、試行的プログラムとなります。
- 将来的な制度構築に資するため、受講後にアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

お問合せ

東京農工大学農学部附属 野生動物管理教育研究センター (平日9:30~16:30)
E-Mail : wm-center@m2.tuat.ac.jp / Tel: 042-367-5861

